

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270200967		
法人名	社会福祉法人七峰会		
事業所名	グループホームアップル		
所在地 (電話番号)	〒036-8302 青森県弘前市高杉字尾上山349 (電話) 0172-97-2778		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年8月24日	評価確定日	平成21年10月17日

【情報提供票より】(平成21年7月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 2人, 非常勤 5人, 常勤換算	6.3人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋平屋 造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬期7,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(7月10日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	83.9 歳	最低	67 歳
		最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桔梗野こども・おとなクリニック、藤代健生病院、小泉歯科
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

岩木山のふもとに位置し、周囲にはリンゴ畑が広がっている。デイサービスや特別養護老人ホームと併設されており、サービスの連携がとれている。建物の周りには果樹・野菜畑をつくり、収穫の楽しみがある。入居者それぞれの作業・レクリエーションの実施表を作成し、その方の状態に応じて何らかの役割や趣味・楽しみ事の時間を一人ひとりにもってもらうように支援している。昼食は毎日お肉やお魚を選択でき、その他好みに合わせて代替のメニューも用意している。湯飲み、茶碗、箸は入居者の馴染みのものを使ってもらい、副食ごとに綺麗に小鉢に分けて盛り付けられており、見た目も楽しく食事ができる。認知症緩和の為の療法プログラムを2年程前から継続的に行っており、効果が見られている。職員の声のかけ方がつねに穏やかで、ゆったりとした雰囲気である。入居者の皆さんは趣味の将棋をする方、新聞を読む方、居室ですぐす方と、自由に思いおもいの時間を過ごされている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地震対策への改善として、食器棚等へ転倒防止の器具を取り付け、また地震発生時の対応を話し合っ、マニュアルに盛り込むようにした。また、居心地のよい居室作りのために、家族へ馴染みの物を持ってきていただけよう働きかけ、本人とも話し合っている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員一人ひとりが自己評価を行い、その後全員で評価について話し合っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議ではホームの活動内容の報告を行い、参加者からは地域の催し物の情報、他グループホームの取り組みの情報等をもらっている。地域の方が参加しての食事作り会が企画として提案され、町会婦人部と協議して計画中である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	気軽に意見を言っただけよう、普段から面会時等に声をかけ、言っただきやすい関係作りに努めている。内外部の苦情受付窓口を説明し(法人で設置している第三者委員会もあり)、玄関には意見箱を設置している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	語り部による昔話をホームで開催し、地域の方へも声をかけて参加を募っている。小学校の行事を見学させてもらったり、地区の公民館での作品展に入居者の作品を出品したりしている。普段から散歩の時などに声をかけて、交流を図っている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスになったことを受け、「地域に開かれた施設」という理念を新たにそれまでのものに盛り込んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について管理者は引継ぎ時等に職員へ話しており、職員も理念の意味をよく理解している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の小学校行事の見学をさせてもらっている。地区の公民館の作品展に、入居者の作品を出品している。散歩しているときなどに挨拶をして交流を図っている。ホーム便りを地域の回覧板へ付けてもらったり、小学校や保育園、理容院等に送付している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員それぞれがまず自己評価を行い、全員で評価について話し合っている。外部評価についても、改善項目について全員で話し合っており取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回行っており、市担当者、包括、地区代表者、家族、入居者等に参加していただいている。普段のサービスを報告し、参加者の意見を受けたり、提案をもらったりしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議時に運営上のアドバイスをいただいたり、課題がある場合には協議・相談できるような体制をつくっている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度について、勉強会を開いて管理者以外の職員も制度の内容を把握している。家族へも制度について情報を提供している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>年1回内部研修にて高齢者虐待防止法の内容を確認するなどして防止に努めている。研修で利用した資料をファイルに綴り、マニュアルとしていつでも見られるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>説明は十分時間をとって行い、重度化した場合、入院時などの対応を予め説明している。今年度の利用料金改定の説明も行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族へは毎月ホーム便りを送って暮らしぶりを報告している。便りは写真入りで、行事や普段の様子、職員の異動、これからの行事等が紹介されている。便りだけでなく、病院受診時や体調変化時など、何かあったときの報告も行なわれている。金銭出納については、出し入れの多い人へは毎月報告し、少ない人でも折を見て報告するようにしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に声をかけ、意見を言っただけのような関係作りを心がけている。苦情受付先を契約時に説明している。法人で苦情受付の第三者委員を設置しており、事業所だけでなくそちらへも苦情を伝えることができる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動はなるべく行わないようにしているが、利用者が母体からの入居の場合には、顔なじみの職員も一緒に移ってくるようにしている。新任職員が入った場合にはある程度日勤を続けたり、夜勤も2人体制にするなどして早く慣れてもらえるように工夫している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の年間計画を立て、外部研修には積極的に行かせるようにしている。また、個人的に行きたい研修等があれば、勤務の調整を行かせるようにしている。法人として介護福祉士やケアマネ等の福祉関係の資格取得をバックアップしており、試験対策の勉強会を開催している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同法人の他グループホームと交流がある他、他法人の事業所にも見学に行っている。市のグループホーム協会や、県老協等に加え、研修や総会時に情報交換するようにしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>併設施設のショートステイや、デイサービスを使って徐々にサービスに慣れていただきながら入居になるケースが多いが、その他にも1日だけ試しに入居してもらったり、家族と連絡を取り合って徐々に馴染んでいたように取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の出来ることであれば、その方の状態に応じて日常の役割を持っていただいている。懐かしいお菓子作りや、畑作りなど、入居者の経験を活かせる場面作りをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して一人ひとりの意向の把握に努めている。入居者の担当を決めて、本人・家族から生活歴等を聞きこんだり、普段の会話の中から意向を探るようにしている。年2回、職員の情報を集めて見直しをするようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族の意向を介護計画に反映させるようにしている。家族には折を見て要望を伺っている。職員からも情報を得ながら計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>計画は3ヶ月に1回、または状態が変わったらその都度、関係者と話し合い、意見をもらいながら見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外出・外泊の希望には柔軟に対応するようにしている。病院受診は家族と話し合って付添いの対応している。入院時には早期退院へ向けて、病院と連絡を取り合っている。家族の宿泊にも対応している。買い物・美容院など、馴染みの所を利用できるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それまでのかかりつけ医を優先して受診するようにしている。受診にて何かあった場合には家族へ連絡を入れるようにしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応については、併設の特別養護老人ホーム等へサービスの移行をする事を入居契約時に説明している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の尊厳を損ねないように言葉遣い、心得などを毎年職員会議にて確認している。個人の記録物等は第三者の目に入らないようにし、保管は外部から見えない戸棚にしまっている。		個人情報保護のために配慮されておりますが、さらなる個人情報の漏洩防止のため、また職員間でのルール共有のためにも秘密保持の規程を作成してみたいかがでしょうか。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的にその方のペースに合わせて、その方のやりたい事をしていただくようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>昼食は毎日おかず(肉か魚)を選択できる。入居者の状態に合わせて食事の準備の手伝いをお願いしている。食事は職員も同じテーブルについて、食事が楽しいものになるよう会話をしながらさりげなくサポートされている。基本的におかずは母体施設で作っているが、年に何回かは入居者の好みを聞いて、材料の買出しから行い、一緒に作る機会を設けている。湯のみ、茶碗等は入居者の馴染みのものを使うようにしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週3回であるが、希望があればその他の日でも対応している。午前でも午後でも、希望の時間に合わせて入浴できる。一人ずつの入浴で、一人で入れる方は羞恥心に配慮して脱衣場からの見守りとしている。水虫の方、希望する方には毎日足浴も行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者それぞれの作業・レクリエーションの実施表を作成し、その方の状態に応じて何らかの役割や趣味・楽しみ事の時間を一人ひとりにもってもらうように支援している。その時々声をかけて、やりたい事をやっていただくようにしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>その方の状態や希望に合わせて散歩に出るようにしている。また、食事材料や個人的な買い物等に出かけるように支援している。茶話会などで入居者の行きたい所を聞き出すようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修にて身体拘束については学んでおり、対象となる行為を理解しており、行わないという共有認識がある。日常の業務が拘束につながっていないか、職員間で確認し合っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠は夜間のみ行うようにし、日中は見守りで対応している。もしも屋外徘徊等の緊急時には、法人全体で捜索できるように緊急連絡網ができています。玄関にチャイムがついていたが、耳障りではなかった。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回、日中と夜間の火災を想定して行っており、消火器の取扱法も訓練している。消火器機点検も年1回行っている。災害時の備蓄品は、隣接する母体施設の特養で1週間分保管している。地域の方は母体の特養の訓練へは参加しているが、グループホームへの参加はない。		グループホームの避難訓練にも地域の方の参加をお願いしてみたいかがでしょうか。また、地震を想定した訓練も行ってみたいかがでしょうか。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は入居者の状態に応じてチェックし、記録している。状態変化時には母体施設の医務と連絡を取りながら観察している。アセスメント時等に本人の好みを聞いて、また食べないときには声をかけ、代替食の用意をしている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の予防・対応マニュアルがあり、職員は内部研修にてその内容を確認している。新型インフルエンザについても勉強会を開催している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には不快となるものは無く、トイレ等も匂いが無く清潔感がある。廊下等には入居者の写真や趣味の作品が飾られている。フローリング、テーブル、小上がりと、入居者の方は思い思いの場所で過ごされていた。廊下からは外の景色や畑が眺められ、所々に長いが置かれて一休みできるようになっている。食卓には季節の花が飾られていた。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族へは本人馴染みの物や家具を持ってきてもらうように呼びかけている。持ち物の少ない方にも、家族へ相談してその人らしい環境になるよう配慮している。居室にはその方の趣味の道具や作品、写真等が置かれている。フローリングや畳、ベッド、敷布団等、その方の状態に合わせて対応するようにしている。</p>		

 は、重点項目。